

大雨に備えて～スマホで防災

大雨は低気圧や台風の影響で広い範囲に降るほか、積乱雲の発生・発達により激しい雨が数時間にわたって狭い地域に降り続くことがあり、これにより河川の増水・氾濫や低い土地の浸水、土砂災害が発生することがあります。

近年では平成28年9月に低気圧の影響により宗谷北部で大雨となり、稚内市では土砂災害や住家浸水、道路冠水の被害が発生しています。

気象庁が発表する防災気象情報のうち、今後の雨量分布の予報について、平成30年6月から予報期間をこれまでの6時間先から15時間先に延長しています。また、平成29年7月から、雨による土砂災害・浸水害・洪水害の発生の危険度を地図上に表示する「危険度分布」の運用を開始していますが、平成30年8月からは、スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「危険度分布」をワンタッチで表示できるようになりました。

これら情報はスマートフォン等で手軽に利用できますので、早い段階から大雨への備えや状況把握等、大雨による災害から身を守るためのツールとしてご活用ください。

洪水危険度分布



今後の雨



お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

稚内地方気象台 施設見学のお知らせ

日 時：令和元年7月27日（土）午前10時から午後3時まで

場 所：稚内地方気象台（稚内市開運2丁目2-1 稚内港湾合同庁舎）

内 容：気象台の施設見学「わからないお天気ひろば2019」

- ・地震や津波、気象に関する実験や解説パネルの展示を行います。
- ・観測機器の展示や解説を行います。
- ・気象庁マスコットキャラクター「はれるん」が来ます。
- ・入場無料です。また、事前の申し込みは不要です。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679（平日午前8時30分～午後5時15分）

地域おこし協力隊通信

vol.43

こんにちは、地域おこし協力隊の吉原ゆりかです。

1年の中でも天候が安定し、青空が続くこの時期は、私にとって1年で最もワクワクする時期です。

5月26日（日）に第3回目となる「テシオコザクラ観察会」を開催しました。北海道大学天塩研究林職員の方々と一緒に、総勢27名の参加者とテシオコザクラ群生地を目指し、山道を歩きました。暖かい日が続いていたため、テシオコザクラは、咲き終わりのものが目立っていましたが、その他の春の花たちと共に、初夏の花たちも一斉に開花しており、あちこちに花があふれる素晴らしい観察会となりました。テシオコザクラは幌延町の町花ですが、地球上で道北の蛇紋岩地帯にのみ生育する非常に希少な植物で、数週間の限られた期間にしか花を見ることができません。参加者の中には道外から訪れた方もおられ、半年以上前から参加希望の連絡を頂戴したり、3年連続ご参加の方がいたり、テシオコザクラの人気ぶりに驚くばかりです。個人的には、テシオコザクラと同箇所に花を咲かせるオゼソウも、尾瀬とこの地域にしかない（隔離分布）という希少価値の高い植物で、とても可愛らしい姿をしており、気に入っています。幌延町には、まだまだ認知されていない魅力が多くあることを、感じられる一日でした。



①テシオコザクラ



②オゼソウ



③群生地での様子

▼町ホームページ：協力隊コーナー「Base Town」／▼協力隊Facebook(URL：<https://www.facebook.com/horo.okoshitai/>)